

2023年度国際漁業学会（JIFRS）大会シンポジウム 漁村地域活性化と海業の推進

1. シンポジウムの趣旨

古くから伝統産業である漁業や水産業によって支えられ栄えてきた漁村が、1990年代に入ってから漁業の縮小再編や水産業の空洞化などにより、崩壊の危機に直面するところが散見されるようになった。漁村地域を如何に振興するかが問われて久しく、近年海業はいわばその打開策として再び脚光を浴びるようになり、2022年3月に更新された最新の第5期水産基本計画において、海業の振興が主要政策の一つとして位置づけられた。また、海業の振興に向けて2023年3月10日に漁港の用途拡大や漁港施設等活用事業制度を盛り込んだ漁港漁場整備法の改正や、それに伴う水産業協同組合法、遊漁船業の適正化に関する法律の一部改正案が閣議決定され、今後の国会審議に付された。本シンポジウムでは、こうした海業政策の導入と漁港制度改革の動きを踏まえながら、漁村地域経済活性化の原点に立ち返って、改めて海業振興の意義、漁港制度改革や海業のあり方をめぐって検討することを目的とする。

2. シンポジウムの構成

総合司会：山下東子（大東文化大学）、川辺みどり（東京海洋大学）

開会のあいさつ 婁小波（東京海洋大学） 12:55 - 13:00

第I部 海業の推進をめぐって（13:00 - 15:00）

司会：川辺みどり

解題：漁村地域活性化と海業の推進—海業振興の意義 13:00 - 13:15
婁小波

報告1：海業の振興をめぐる政策的展開 13:15 - 13:40
浪川珠乃（漁村総研）

報告2：海業の振興とブルージャスティスの視点の重要性 13:40 - 14:05
李銀姫（東海大学）

報告3：海業の振興と新たなビジネスモデルの構築—(株)ゲイトを事例に— 14:05 - 14:30
神山龍太郎（水産研究・教育機構）・飛田努（福岡大学）
松井隆宏（東京海洋大学）

報告4：オーストラリアの漁村経済と海業 14:30 - 14:55
— Can food localism save small-scale fisheries in Australia?—
Kate Barclay（シドニー工科大学）

休憩	14:55 - 15:10
第Ⅱ部 地域での実践 (15:10 - 16:25)	
司会：関いずみ (東海大学)	
解題：静岡県漁業・海業の全体像 関いずみ (東海大学)	15:10 - 15:15
報告5：由比港漁協における海業の取り組み 宮原淳一 (由比港漁業協同組合)	15:15 - 15:30
報告6：清水漁協用宗支所における海業の取り組み 斉藤政和 (清水漁業協同組合・用宗支所)	15:30 - 15:45
報告7：伊豆漁協稲取支所における海業への取り組み 鈴木精 (伊豆漁業協同組合・稲取支所)	15:45 - 16:00
報告8：いとう漁協における海業への取り組み 高田充朗 (いとう漁業協同組合)	16:00 - 16:15
休憩	16:15 - 16:25
第Ⅲ部 総合討論 (16:25 - 17:45)	
司会：山下東子・川辺みどり	
コメンテーター：宮田勉 (JIRCAS) 五月女圭一 (株式会社ゲイト) 中原尚知 (東京海洋大学)	16:25 - 16:45
総合討論	16:45 - 17:45
閉会の挨拶 松井隆宏 (東京海洋大学)	17:45